



守屋多々志作
「智恵子と光太郎」

大垣市議会だより

発行：大垣市議会 編集：市議会だより編集委員会 TEL：0584-47-8073



大垣市制100周年

<インターネットURL>
大垣市議会 検索

3都市4城連携協定式
(大垣公園城西広場 平成30年6月30日)

第1回OGAKIスポーツフェスティバル
(大垣市総合体育館 平成30年6月10日)



第2回市議会定例会

平成30年度一般会計
補正予算などを可決

定例会日程		
6月	4日	本会議（提案説明）
	11日	本会議（一般質問）
	13日	子育て支援日本一対策委員会
	14日	建設環境委員会、経済産業委員会
	15日	文教厚生委員会、企画総務委員会
	18日	議会運営委員会、本会議

第2回市議会定例会を6月4日から18日までの日程で開催しました。

初日には、大垣市副市長の選任についてを先議した後、市長から平成30年度一般会計補正予算などについて提案説明を受けました。

11日には13名の議員が市政運営に関する一般質問を行い（2、3面に掲載）、13日から15日には各委員会において付託議案の審査を慎重に行いました。

18日の最終日には、各委員長が審査結果の報告を行い、市長提出議案6議案を原案どおり可決しました。

また、議員提出議案として、「旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書」を可決し、閉会しました。

委員会構成		
5月10日に開会された第1回臨時会において次のとおり決まりました。		
議会三役	常任委員会	
議長 石川 まさと	企画総務委員会	文教厚生委員会
	委員長 横山 幸司 副委員長 笹田 トヨ子 委員 長谷川 つよし " 粥川 加奈子 " 田中 孝典 " 日比野 芳幸	委員長 中田 ゆみこ 副委員長 近沢 正 委員 中田 としや " 山口 和昭 " 岡本 敏美 " 石川 まさと
副議長 田中 孝典	経済産業委員会	建設環境委員会
監査委員 空 英明	委員長 石田 仁 副委員長 関谷 和彦 委員 丸山 新吾 " 岡田 まさあき " 林 新太郎	委員長 川上 孝浩 副委員長 北野 ひとし 委員 空 英明 " 岩井 哲二 " 高橋 滋
議会運営委員会		
委員長 日比野 芳幸 副委員長 山口 和昭 委員 粥川 加奈子 " 川上 孝浩 " 岡田 まさあき " 横山 幸司 " 林 新太郎	特別委員会	
	市民病院に関する委員会	子育て支援日本一対策委員会
	委員長 粥川 加奈子 副委員長 中田 としや 委員 田中 孝典 " 日比野 芳幸 " 石田 仁 " 林 新太郎	委員長 山口 和昭 副委員長 岡田 まさあき 委員 近沢 正 " 中田 ゆみこ " 高橋 滋

補正予算
【一般会計】

可決された主な議案

◇国の補助採択に伴い、高齢者施設の安全・安心を確保する防災改修への補助金として740万円を計上。

◇奥の細道むすびの地記念館の展示資料の充実を図るため、松尾芭蕉真筆資料等の購入費として350万円を計上。

条例等

◇大垣市緑を育み生かす条例の一部改正について
市制100周年を記念して、緑化推進のシンボルに市の花木を加えるため、所要の改正を行うもの。

◇財産の取得について
三城幼保園の建設に伴い、厨房機器一式を取得するもの。

意見書（文面は4面に掲載）

◇旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書

一般質問

6月11日に
一般質問を
行いました

市民病院周辺の交通渋滞
解消策について

石田 仁

質問…市民病院は、西濃圏域の中核病院として市民に大いなる安心を与えている。しかし、その立地条件に加え、外来患者やお見舞い等の来院の車による周辺の交通渋滞は長年の懸案事項である。解消策は路線バスまたはコミュニティバスの病院敷地内乗り入れと立体駐車場建設しかないと思うが、市の見解を問う。

答弁…立体駐車場の建設は交通渋滞解消策として有効な手段であると考えているが、病院周辺は都市計画法等の規制において立体駐車場の建築面積等に制限がある。さらに、南側駐車場の大部分が借地であるため、用地取得などの課題がある。施設整備計画策定の中で駐車場整備も検討していく。

路線バスまたはコミュニティバスの敷地内への乗り入れは、道路拡幅などの用地確保が必要のため、現状では困難な状況である。今

後も、来院者の利便性や安全性に配慮した施設整備に努めていく。

市制100周年記念事業
について

岡田 まさあき

質問…各事業の積算根拠や終了した事業の成果及び支出概略を情報公開された。10月7日のパレードは大混雑が予想されるが、安全対策は検討されているか。今後、事業の絞り込みや事業費の節約による減額ができないか。事業費の3分の1以上を担当するNPO法人大垣観光協会は、本来のあり方から逸脱していないか。

答弁…市制100周年記念事業は、既に20を超える事業が行われた。各事業の積算根拠等は、行政執行情報として非公開とし、事業の支出概略は、決算にむけてとりまとめを行っている。10月7日のパレードは、朝鮮通信使行列の再現やデイズニールパレード等を実施し、市制100周年を大いに盛り上げていく。事業実施には、効果的かつ効率的な予算執行に努める。

次に、NPO法人大垣観光協会は、交流人口の増加、地域の活性化につながる事業を実施し、市も企画段階から連携し取り組む。

新庁舎の建設について

山口 和昭

質問…扇状地に位置する当地は、地層上、地下水対策が大切な関心事であり、砂杭工法にも注目した。旧丸の内公園が日の目を見る場所に移動することも喜ばしく、本市の地下活用策にも期待する。新庁舎建設に関連し、水に関わる新たなシンボルモニュメントを設置してはどうか。

答弁…災害から市民の生命や財産を守る防災拠点である新庁舎の工事が進んでいる。豊富な地下水や太陽光等の自然資源を活用し、自然エネルギーを生かした庁舎として整備している。新丸の内公園は、地下水を利用した井戸舟や水盤を備えた親水公園を整備する。

シンボルモニュメントについては、地下水などの地域資源を生かし、「未来を担う子どもたち」をテーマに、「未来への飛躍」を表現する作品デザインを全国から公募する。

発達がゆっくりな子供への
支援について

関谷 和彦

質問…発達がゆっくりな子どもへの支援は、総合的な子育て支援の視点を持つことにより、社会資源との

ネットワークを築き、子どもの発達を保障することの意義や地域全体を視野に入れることが望ましい。子どもの生活を保障することの意義、福祉の増進機能を深めるべきとも考えるが、本市の実態・支援状況及び考え方を伺いたい。

答弁…本市では早期療育の場としてひまわり学園を設置し、分園として墨俣めばえルームや上石津ちびっこおおむしを開所している。言語聴覚士や保育士等が日常生活における基本動作の指導や集団生活への適応訓練等の療育指導を実施している。

放課後等デイサービス事業所は市内に22事業所があり、子どもの生活能力向上のために必要な訓練等の支援を行っている。児童館やファミリーサポートセンターでは、対象年齢の子どもはすべて受け入れ、サポート会員を対象に発達の特性を理解する研修を実施し、的確な対応につなげている。

障がい児支援のあり方について

中田 ゆみこ

質問…今、障がい認定まで至らないものの、軽度の発達障がいのある子ども、少し心配のある子どもが増え

てきている。保育所におけるそのような子どもの状況把握と対策を伺う。また、県が策定している個別支援ファイルであるプロフィールブックや専門機関の活用はされているのかを問う。

答弁…保育園等において、落ち着きがない、感情のコントロールが難しいといった適応力につまづきのある子どもが増えている。そのため、保育者の加配や特別支援コーディネーターによる保護者への相談支援の実施やひまわり学園など専門機関の巡回指導、すべての保育者を対象に研修を実施し、資質向上を図っている。

本市ではプロフィールブックをスマイルブックと名付け平成22年度から配付し、小中学校への就学時の引き継ぎ会やライフステージを通じた支援に活用している。

矢橋六郎氏のモザイク壁
画について

川上 孝浩

質問…新庁舎の建替えにあたり、自民クラブでは、現庁舎ロビーに設置されている矢橋六郎氏のモザイク壁画「西濃の四季」の移設と保存を要望し、新庁舎7階議場に一部移設が決定している。また、矢橋大理石から移設費用の寄附の申し出があった。矢橋氏の作品の

保存計画が進む中、作品の一部移設ではなく、全面移設を強く要望する。

答弁…現本庁舎のロビーのモザイク壁画「西濃の四季」は、本市が全国に誇る洋画家・矢橋六郎氏の作品であり、昭和39年現本庁舎建設に際し、大垣共立銀行から寄附を受けたものである。

壁画の全部移設は自民クラブの議員各位をはじめ、多くの市民や芸術愛好者から要望が出されていたところである。当初、新庁舎7階議場に全体の約3分の2にあたる壁画中央部の移設を予定していたが、矢橋六郎氏の貴重な芸術作品を次代に引き継いでいく認識のもとと全面的な見直しを行い、十分な大きさを確保できることとなったことから、壁画全部を移設する。

健康長寿とフレイル予防
について

横山 幸司

質問…フレイルとは、「虚弱」を意味し、加齢による心身の機能が衰えてきた状態である。今後、増大する介護予備軍の高齢者に対して、早期の「気づき」、「適切な対応」で心身の機能低下を遅らせ、健康な状態を目指すフレイル予防策（良い食事・軽い運動・楽しい交流）により、市民の健康

長寿を推進されたい。

【答弁】フレイル予防策は大変重要であり、本市では、低栄養予防を目的とした料理教室や、筋力低下の予防と運動の習慣づけを目的とした教室、フレイル予防の出前講座を行っている。

地区センターなどでは、高齢者の閉じこもり予防等を目的に、笑・話・歯動場が開催され、いきいきサロンや老人クラブのスポーツ大会等への社会参加を促進し、地域ぐるみの健康長寿を支援している。

フレイル予防について普及啓発を行い、地域の各種団体や関係機関と連携して年齢を重ねても元気でいきいきと活動できる環境づくりに努めていく。

中心市街地における空き店舗とその対策について

近沢 正

【質問】中心市街地活性化に取り組む若手が商店街に点在する空き店舗問題に取り組み始めた。空き店舗撲滅プロジェクトとして関係者と連携しながらアンケートとヒアリング調査を予定している。その結果を元に借り手と貸し手のマッチングを円滑にするため、さらなる支援が必要と考えるが、本市の取り組みを伺う。

【答弁】本市では、平成27年

から大垣市中心市街地活性化基本計画に基づき、新規事業者に対し、店舗改装費と家賃の一部補助や、既存店舗の改装費の一部補助等を実施している。本年度からは、商工会議所や商店街、大学、市等で組織する大垣市中心市街地活性化協議会が中心となり、独立行政法人中小企業基盤整備機構と連携し、中心市街地空き店舗撲滅プロジェクトに取り組む。アンケート及びヒアリングにより、今後の店舗活用 の 予 定 を 把 握 し、中心市街地への出店者と空き店舗の家主とのマッチングを円滑に行い、空き店舗の解消に努めていく。

水門川上流部の河川改修について

空 英明

【質問】大垣駅から約1kmの第1種住居地域の八島町、林町において5年連続浸水被害が発生しており、水門川の河川改修は一刻も早く解決すべき案件である。特に、加納放水路の早期着工が必要であり、今後、水門川の河川改修はどのような計画で進められるのか。また、本市の浸水被害軽減に向けた対策を伺う。

【答弁】水門川上流部の河川改修は、今年度より洪水調節池の整備に着手し、平成

33年度に完成する予定である。また、杭瀬川への放水路整備は、今年度から具体的なルートを検討し、河道拡幅区間において段階的な施工に向けた検討を実施する予定である。水門川流域の浸水被害の軽減策については、雨水の流出を抑制する校庭貯留施設の整備を、中川小、北小、北中で実施している。また、水門川への雨水の流入を軽減するため他流域に放水する中川バイパス水路等を整備している。

今後市としての対策を進めるとともに、県の河川改修事業の早期完了に向けて地元住民や県との連携を図り、安全・安心のまちづくりに努めていく。

地域公共交通について

中田 としや

【質問】運転できない学生や免許を返納した高齢者等の交通・移動の権利を保障するため、地域公共交通の充実が重要である。バス停や鉄道駅から離れている交通不便地域における対策を伺う。また、バスの運行ダイヤの見直しや運賃の定額化等、バス利便性向上の取り組みについて本市の考えを伺う。

【答弁】本市の鉄道やバスの地域公共交通については、利用者数は減少傾向にあ

り、交通事業者の経営も厳しい状況が続く中、多くの路線を市の財政負担により維持している。本市では、平成31年度に持続可能な地域公共交通ネットワークの形成やまちづくりにも配慮した施策等について定める地域公共交通網形成計画の策定に取り組む。交通不便地域における対策は、移動ニーズをはじめ、利便性や費用対効果等も考慮し、本市に適した運行形態を研究していく。

男女共同参画センターについて

粥川 加奈子

【質問】昨年10月にオープンしたハートリンクおおがきの利用状況と事業内容を報告されたい。先進事例に学び、男性向けの自立支援や女性向けの充実した講座、また、独自にGGI※の調査を行われた。施設利用時の駐車料金は、一日に複数回や、一週間に何度も来場する方への対応を考察されたい。

※ジェンダー・ギャップ・インデックスの略で、各国における男女格差を測る指標。

【答弁】男女共同参画センターは、昨年10月に開設し、3月までに、約3千人の方が利用された。交流広場の設置や利用登録団体の連絡会議を開催している。おおがき女性人材育成塾を

開催し、今年度から女性の活躍支援やワーク・ライフ・バランスに関する講座の開催等による学習機会の提供や意識啓発を図っていく。また、女性相談員、弁護士等による専門的な相談を定期的に開催している。駐車料金は、相談者に次回利用できる駐車券を交付している。その他の軽減策については、利用者の動向等を調査していく。

登下校の防犯対策について

長谷川 つよし

【質問】新潟市で小学2年生の女児が下校時に連れ去られて殺害されるという、悲惨な事件が起きた。残念ながらこうした事件はどこでも起こりうる。そのような時代に生きているとの認識を持ち、改めて登下校時の防犯対策を見直すことが必要である。市内の声掛け事業等の発生状況及び、具体的な防犯対策を問う。

【答弁】本市での小中学生に対する声掛け事業は平成29年に40件あり、教育委員会では新潟市の事件を受け、見守り体制の充実、犯罪発生マップや防犯ブザー等の活用による児童生徒への注意喚起や学校間での不審者情報の共有を指導した。登下校時の防犯対策は、

警察官から不審者の声掛け 事案発生時の対応を学ぶ 防犯教室を実施し、小学校においては学年毎の集団下校に努めている。

学童期の子供たちの居場所について

笹田 トヨ子

【質問】本市は、「子育て日本一」を掲げているが、子どもの人格的発達にとって重要な、自由に遊び活動できる児童館的な居場所が少ない。立地適正化計画では各地域に子育て拠点施設を位置づけている。「公共施設等総合管理計画」においても子どもの居場所施設を位置づけ整備してはどうか。

【答弁】本市では、墨俣児童館のほか児童遊園地が市内92か所で整備されている。また留守家庭児童教室や地区センター等で大垣まるごと土曜学園事業や地域の人材による講座を開催している。「遊び」を通じて考え、決断し、行動することにより、子どもたちの自主性・社会性・創造性が育まれるよう、事業内容を見直しながら取り組んでいく。大垣市公共施設等総合管理計画では、事業効果をはじめ、地域性、民間施設の整備状況などを考慮し、今後の公共施設等のあり方について検討する。

◆一般質問の録画放映
(ケーブルテレビ)

大垣市議会では、市民の皆さまに議会活動への理解を深めていただくため、各定例会（3月、6月、9月、12月）の一般質問を大垣ケーブルテレビ（11ch）による録画で放映しています。

今回の放映は、9月中旬（一般質問が行なわれた週の土・日）を予定しています。

市民の皆さまのご意見やご要望をいただきながら、よりよい紙面づくりに努めてまいります。

平成三十年度
編集委員の紹介

委員長 長谷川 つよし
副委員長 北野 ひとし
委員 横山 幸司
委員 山口 幸司
委員 関谷 和彦
委員 中田 としや
委員 近沢 正

功績をたたえ
永年在職議員表彰を伝達

去る6月4日、定例会の開会前に全国市議会議長会の永年在職議員表彰の伝達があり、石川議長から表彰状が手渡されました。

◇特別表彰 議員25年以上 岡田まさあき 議員
◇一般表彰 議員15年以上 川上孝浩 議員
石田仁 議員
笹田トヨ子 議員

意見書

第2回定例会で可決された意見書は次のとおりです。
意見書は国会をはじめ、内閣総理大臣及び関係各大臣等に送付し、実現を要望しました。

旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書

昭和23年に施行された旧優生保護法は、知的障がいや精神疾患を理由に本人の同意がなくても不妊手術を認めていた。同法は平成8年に障がい者差別に該当する条文を削除して母体保護法に改正された。
厚生労働省によると、旧法のもとで不妊手術を受けた障がい者らは約2万5,000人。このうち、本人の同意なしに不妊手術を施されたのは1万6,475人と報告されている。
本人の意思に反して手術が施されたとすれば、人権上問題がある。また、同様の不妊手術を行っていたドイツやスウェーデンでは当事者に対する補償等の措置が講じられている。旧法のもとで不妊手術を受けた障がい者らの高齢化が進んでいることを考慮すると、我が国においても早急な救済措置を講じるべきである。

1. 国は、速やかに旧優生保護法に基づく不妊手術の実態調査を行うこと。
2. その際、都道府県の所有する「優生保護審査会」の資料などの保全を図るとともに、資料保管状況の調査を行うこと。あわせて個人が特定できる資料について、当事者の心情に配慮しつつ、できる限り幅広い範囲で収集できるよう努めること。
3. 旧法改正から20年以上が経過しており、関係者の高齢化が進んでいることから、的確な救済措置を一刻も早く講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年 6 月18日
大 垣 市 議 会

平成30年第1回臨時会 議案審議結果一覧

全会一致で可決された議案			
議案番号	議 案 名	議案番号	議 案 名
議第49号	大垣市税条例の一部改正について	議第51号	大垣市監査委員の選任について
議第50号	大垣市企業立地促進条例の一部改正について	報第2号	専決処分の報告並びにその承認について

平成30年第2回定例会 議案審議結果一覧

全会一致で可決された議案			
議案番号	議 案 名	議案番号	議 案 名
議第52号	平成30年度大垣市一般会計補正予算（第1号）	議第56号	大垣市緑を育み生かす条例の一部改正について
議第53号	大垣市職員退職手当条例の一部改正について	議第57号	財産の取得について
議第54号	大垣市税条例等の一部改正について	議第58号	大垣市副市長の選任について
議第55号	大垣市介護保険条例の一部改正について	市議第3号	旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書

議 場 案 内

市庁舎 3 階

入口

議会事務局

事務局 議長

演 壇

財政課長 行政管理課長 子育て支援部長 企画部長

福祉部長 生活環境部 かがやきライフ推進部長 総務部長 副市長 市長

⑧ 粥川 ⑦ 中田ゆ

⑥ 長谷川 ⑤ 関谷 ④ 北野 ③ 空

⑭ 川上 ⑬ 石田 ⑫ 笹田 ⑪ 山口

⑳ 高橋 ㉑ 横山 ㉒ 岡田 ㉓ 石川

② 中田と ① 近沢

⑩ 日比野 ⑨ 田中

⑰ 岩井

市庁舎 4 階

傍 聴 席

(座席：75席 うち、車いす席4席)

※○は議席番号